

平成 27 年度 男女共同参画に関する市民意識調査

この調査は統計目的以外には使用しません。あなたのご意見が外部にもれることは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。**9月8日(火)までに必着**するよう、ポストにご投函をお願いいたします。

大阪市（市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課）

あなたの現在の生活や地域・社会活動についてお伺いします

問1. あなたは近所の人と、どのようにお付き合いをしていますか？**あてはまるものすべてに○をおつけください。**

- 顔を合わせたらあいさつをする
- 立ち話・世間話などをする
- 家族ぐるみで交流がある人がいる
- お互いに訪問しあう人がいる
- 買い物や趣味、スポーツなどを一緒にする人がいる
- 物の貸し借りや相談など生活面で協力しあう人がいる
- ほとんど付き合いはしていない
- その他(具体的に: _____)

問2. あなたは、現在お住まいの地域活動(町内会やイベント、サークル等)に参加していますか？

あてはまるもの1つに○をおつけください。

- 現在、参加している
- 現在、参加したいと思っているが、参加できていない
- 現在、参加していないが、過去に参加したことがある
- 参加したことがない/参加したいと思わない
- その他(具体的に: _____)

問3. **問2で「1. 現在参加している、2. 現在、参加したいと思っているが、参加できていない、3. 現在、参加していないが、過去に参加したことがある」を選んだ方**にお伺いします。

参加している/したいと思う理由について、あてまるもの3つに○をおつけください。

- 地域の役に立ちたい
- 地域活動に参加するのは義務だと思う
- 地域活動に興味がある
- 強制的に参加させられた
- 参加したい活動があった
- 相互扶助の立場から
- 近隣とのコミュニケーションをとりたい
- 子どものため
- 近所の人や友人・知人に誘われた
- 家族の意見
- その他(具体的に: _____)

全員の方にお伺いします。

問4. 問2で「4. 参加したことがない/参加したいとは思わない」を選んだ方はその理由について、『参加経験のある方』は地域活動への参加を難しくすると考えられる理由について、**あてはまるもの3つに○をおつけください。**

- 時間がない
- 興味がない
- 面倒だから
- 人間関係がわずらわしい・苦手である
- 一緒に参加する人がいない
- 参加したい活動がない
- 活動内容がわからない
- 参加したいが参加するきっかけがない
- 同年代の人が少ない
- 身体的な負担が大きい
- 経済的な負担が大きい
- 地域活動がほとんどない
- 仕事が忙しく両立が難しい
- 参加できる時間と活動時間があわない
- 参加したい活動の参加方法・場所がわからない
- その他(具体的に: _____)

問5. 次の1～12の地域・社会活動についてお伺いします。
 それぞれの項目について、あてはまるものに○をおつけください。
 (○は項目ごとに1つずつ)

	参加したことがある(している)	今後、参加したいと思っ ている	参加した ことがない (したくない)
(1)健康、医療サービスに関連した活動 (献血、入院患者の話し相手、安全な食品を広めること等)	1	2	3
(2)高齢者を対象とした活動 (高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーション、ふれあい喫茶等)	1	2	3
(3)障がい者を対象とした活動 (手話、点訳、朗読、障がい者の社会参加の協力等)	1	2	3
(4)子どもを対象とした活動 (子ども会活動、子育て支援ボランティア、PTA活動、学校行事の手伝い等)	1	2	3
(5)スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 (スポーツを教えること、美術館などのガイド等)	1	2	3
(6)女性の活躍を促進する活動 (再就職の支援、昇進のための支援、メンター、コーチング等)	1	2	3
(7)まちづくりのための活動 (道路や公園などの清掃活動、花いっぱい運動、まちおこし等)	1	2	3
(8)防犯のための活動 (防犯パトロール、登下校の見守り隊、防犯活動、交通安全運動等)	1	2	3
(9)自然や環境を守るための活動 (リサイクル運動、ごみを減らす活動、森林や緑を守る活動等)	1	2	3
(10)防災・災害に関係した活動 (震災訓練、災害を受けた人に食べ物や着るものを送ること、炊き出し等)	1	2	3
(11)国際協力に関係した活動 (日本にいる外国人への支援活動、海外支援協力、難民支援等)	1	2	3
(12)その他 (具体的に:)	1	2	3

問6. 問5の(1)～(12)のいずれかに「1. 参加したことがある(している)、2. 今後参加したいと思っている」を選んだ方にお伺いします。活動に参加している方は参加している方法、参加したいと思っている方は参加しようと思っ
ている方法は、どのような方法か、あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. ボランティアを目的とするクラブやサークルなどの団体に加入して参加する
2. NPO に加入して参加する
3. 地域社会とのつながりの強い町内会などの組織に加入して参加する
4. 個人として参加する
5. その他(具体的に)

男女の平等、家庭や結婚生活などについてお伺いします。

問7. あなたは、「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方についてどう思われますか。
 あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. そう思う
2. ある程度そう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問8. 問7で「1. そう思う、2. ある程度そう思う」を選んだ方にお伺いします。
 それはなぜですか？ あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親もしていたから
3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 女性が家を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けるのは大変だと思うから
6. その他(具体的に:)

問9. 問7で「3. あまりそう思わない、4. そう思わない」を選んだ方にお伺いします。
 それはなぜですか？ あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 女性が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護を両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきでないから
7. その他(具体的に:)

問 10. あなたは、次にあげる分野で男女平等が進んでいると思われますか。
(1)から(8)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

	女性が非常に優遇されている	女性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない
(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2) 職場で	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(4) 地域活動・社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についてお伺いします。

問 11. 生活の中での「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の優先度についてお伺いします。あなたの理想と現実それぞれに最も近いものに○をおつけください。(○は1つずつ)

	理想に最も近いもの	現実に近いもの
1. 「仕事」を優先したい/している	1	1
2. 「家庭生活」を優先したい/している	2	2
3. 「地域・個人の生活」を優先したい/している	3	3
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい/している	4	4
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい/している	5	5
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい/している	6	6
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい/している	7	7
8. わからない	8	8

問 12. あなたは、平日において、1日のうちに家事・育児・介護などに、どの程度の時間を費やしていますか。該当者がいない、必要がない場合も0分に○をおつけください。(○は1つずつ)

平日 仕事の日	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上
(1)家事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(2)育児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(3)介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(4)仕事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(5)地域活動等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

▶(1)家事(2)育児(3)介護にて「1. 0分、2. 1~30分、3. 31~60分」を選んだ方 → 問 14へ

問 13. あなたは、休日(仕事が休みの日)において、1日のうちに家事・育児・介護などに、どの程度の時間を費やしていますか。該当者がいない、必要がない場合も0分に○をおつけください。(○は1つずつ)

休日 仕事が休みの日	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上
(1)家事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(2)育児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(3)介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(4)仕事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(5)地域活動等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

▶(1)家事(2)育児(3)介護にて「1. 0分、2. 1~30分、3. 31~60分」を選んだ方 → 問 14へ

問 14. 問 12・問 13 の(1)家事(2)育児(3)介護にて「1. 0分、2. 1～30分、3. 31～60分」を選んだ方にお伺いします。家事、育児、介護に費やす時間が少ない理由はなぜですか？ 家事、育児、介護について、あてはまるものすべてに○をおつけください。(○はいくつでも)

	(1)家事	(2)育児	(3)介護
1.(家事・育児・介護が)好きではないから、得意ではないから			
2. 帰宅時間が遅くて時間がないから			
3. 家族(配偶者など)がすべてしてくれて、する必要がないから			
4. 外部(公的・民間など)のサービスを利用しているから			
5. (家事・育児・介護を)どのようにしたらよいかわからないから			
6. (家事・育児・介護は)女性がするものだと思うから			
7. その他(具体的に)			

問 15. 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような取り組みが必要であると思いますか。企業が取り組む必要があるとあなたが思うものに○をおつけください。(○は3つまで)

1. 管理職の意識改革を行う	2. 社長などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む
3. 無駄な業務・作業をなくす	4. ノー残業デーや年休の取得計画をつくるなど、年間労働時間を短縮する
5. もうからない仕事をやめる	6. 給料を上げる
7. 社員を増やす	8. 育児休業をとりやすくする
	9. 介護休業をとりやすくする
10. 在宅勤務、フレックスタイム、短時間勤務など、柔軟な勤務ができるようにする	
11. その他(具体的に:)	12. わからない

問 16. それでは、行政が取り組むと効果的であるとあなたが思うものに○をおつけください。(○は3つまで)

1. ワーク・ライフ・バランスの重要性についてPRする
2. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の事例を紹介する
3. ワーク・ライフ・バランスについての企業の情報を公開する
4. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業を表彰する
5. 保育のための施設・サービスを拡充する
6. 介護のための施設・サービスを拡充する
7. ワーク・ライフ・バランスのための法規制を強化する
8. その他(具体的に:)
9. わからない

女性の活躍促進についてお伺いします。

問 17. あなたは、「女性の活躍が推進されている」とはどのような状態だと思いますか？あてはまると思うもの3つに○をおつけください。

1. 女性の勤続年数が長くなること	2. 出産しても、子育て期間でも仕事を続ける女性が増えること
3. 退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること	
4. 働く女性の割合が増えること	5. 女性が従事する職種・職域が増えること
6. 仕事に対するモチベーションが高い女性が増えること	
7. 管理職や地域の会長などの役職につく女性が増えること	
8. リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること	
9. 仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと	
10. その他 ()	

問 18. 大阪市では、地域・社会活動の分野においても、女性の活躍を進めています。あなたは、地域・社会活動の分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか？
 あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 地域の男性が女性リーダーを希望しないこと
4. 役職につくのは男性などといった地域のしきたりや慣習が残っていること
5. 育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分でないこと
6. その他(具体的に: _____)

問 19. あなたご自身の経験に照らして、次のことがらについて、あなたの考えに最も近いと思われるものに○をおつけください。(○は1つずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(1) 以前に比べて、 <u>地域</u> で女性が活躍しやすくなっている	1	2	3	4	5
(2) 以前に比べて、 <u>就業の場</u> で女性が活躍しやすくなっている	1	2	3	4	5
(3) 以前に比べて、男女ともに働き続けやすいまちになっている	1	2	3	4	5

女性の方にお伺いします。(問 20～問 22)

問 20. あなたは、今後、再就職をしたいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. はい
2. いいえ
3. 現在就労中である
4. どちらともいえない
5. その他(_____)

問 21. あなたは、今後、起業をしたいとお考えですか。あてはまるものを1つに○をおつけください。

1. はい
2. いいえ
3. 現在起業している
4. どちらともいえない
5. その他(_____)

問 22. **問 20・問 21 のいずれかにて「1. はい」を選んだ方**にお伺いします。
 今後、再就職したいあるいは起業したいと考えているけれども、現在実現していない理由は何ですか？それぞれに、あてはまるものすべてに○をおつけください。

	再就職	起業
1. 保育所への入所や延長保育や一時預かり、休日保育など保育サービスを利用できないため		
2. 仕事内容、勤務場所、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないため		
3. 家事について、夫、パートナー等家族の協力を得られないため		
4. 育児について、夫、パートナー等家族の協力を得られないため		
5. 看護・介護について、夫、パートナー等家族の協力を得られないため		
6. 看護・介護について、施設やサービスを利用できなかったため		
7. 働くことについて夫、パートナー等家族の同意が得られないため		
8. 仕事と家庭の両立をうまくやっていく自信がないため		
9. 仕事に必要な知識や能力が備わっているか不安を感じるため		
10. 職場での人間関係をうまくやっていけるか不安を感じるため		
11. 起業するための資金がないため		
12. 起業するための手続きが煩雑であるため		
13. 起業しても継続できるかどうか不安であるため		
14. その他(具体的に: _____)		

問 23. **全員の方**にお伺いします。出産・子育て・介護などで仕事を辞めた後に再就職を希望する女性や、起業したいと考えている女性が再就職や起業をしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 就職情報や起業に関する情報などの相談機関の充実 | 3. 起業のための資金援助 |
| 2. 技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実 | 6. 企業経営者や職場の理解 |
| 4. 起業時から起業後も含めた継続的な支援 | |
| 5. 育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及 | 6. 企業経営者や職場の理解 |
| 7. 労働時間の短縮やフレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入 | |
| 8. 育児や介護のための施設やサービスの充実 | |
| 9. 夫やパートナーなど家族の理解や家事、育児、看護などへの参加 | |
| 10. 子育てや介護等に関する相談窓口の充実 | 11. 起業・再就職経験者等との情報交換・交流の場 |
| 12. その他(具体的に: |) |

問 24. 大阪市では、すべての女性がいいきと自分らしく活躍できるまちをめざして取組を進めています。大阪市として今後、どのような取組をすると効果的だと思いますか？あてはまるもの3つに○をおつけください。

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 官民をあげて「女性の活躍促進」に取り組むための企業間ネットワークの形成 | |
| 2. 各分野で活躍している女性をロールモデルとして提示 | |
| 3. 業種・職種を超えた働く女性の交流の場 | 4. 経営者・管理職の意識改革 |
| 5. 女性の人生設計(ライフプランニング)支援策の充実 | 6. 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実 |
| 7. 男性の意識改革や働き方の見直し | 8. 子育て支援の充実 |
| 9. 介護制度、介護サービスの充実 | 10. 一旦離職した女性の再就職支援の充実 |
| 11. その他(具体的に: |) |

男女間における暴力についてお伺いします。

問 25. あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？あなたのお考えに近いものを選んでください。(項目ごとに○は1つずつ)

	う あ た た る と 思 い	ど ん な 場 合 に も あ た る と 思 い	と 場 合 も あ る と 思 い	暴 力 に あ た る 場 合 も あ る と 思 い	あ た る と は 思 わ な い	暴 力 に あ た る と は
(1) ながる、ける	1		2		3	
(2) 何を言っても無視し続ける	1		2		3	
(3) 暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする	1		2		3	
(4) 自由にお金を使わせない、生活費を渡さない	1		2		3	
(5) 友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する	1		2		3	

問 26. 次にあげる項目のうちで、あなたがご存じのものはありますか。(1)から(3)のそれぞれについて、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

	知 つ て い る	あ る 程 度	こ と が あ る	聞 い た	知 ら な い
(1) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1		2		3
(2) ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)	1		2		3
(3) デートDV	1		2		3

問 27. 女性に対する暴力について、次の相談機関・対応窓口がありますが、あなたはご存じですか。(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

	知っている	知らない
(1) 大阪市配偶者暴力相談支援センター	1	2
(2) クレオ大阪女性総合相談センター	1	2
(3) 各区保健福祉センター	1	2
(4) 大阪府女性相談センター	1	2
(5) 警察署、交番	1	2
(6) シェルターなどの民間の相談機関	1	2

男女共同参画に関連した制度や施策などについてお伺いします。

問 28. 大阪市では男女共同参画社会の実現をめざして施策に取り組んでいますが、次にあげる項目のうち、あなたをご存じのものはありますか。(1)から(8)のそれぞれについて、あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(各項目について○は1つずつ)

	知っている	ある程度知っている	聞いたことがある	知らない
(1) 大阪市男女共同参画推進条例	1	2	3	
(2) 大阪市男女きらめき計画(大阪市男女共同参画基本計画)	1	2	3	
(3) 大阪市男女共同参画施策苦情処理制度	1	2	3	
(4) クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター)	1	2	3	
(5) クレオ大阪で実施している「女性の悩み相談」(クレオ大阪女性総合相談センター)	1	2	3	
(6) クレオ大阪で実施している「男性の悩み相談」	1	2	3	
(7) 大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証制度	1	2	3	
(8) 「きらめく女性の応援ひろば～未来へレディ go!～」(女性の活躍応援 Web サイト)	1	2	3	

問 29. あなたは、「クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター)」にどのような事業を期待しますか。(あてはまるものすべてに○を)

1. 男女共同参画に関する幅広い情報、書籍、資料等の収集・提供	
2. 講演会、シンポジウム、フェスティバル(活動発表、交流の場)等の企画、開催	
3. 男女共同参画の視点からの地域防災の推進	
4. 女性相談窓口の機能の充実、DVに関する相談・支援窓口の充実	
5. 男性向けの講座の充実、男性向けの相談窓口の充実	
6. 自主的な学習活動、ボランティア団体・NPO等の活動支援	
7. 就職、再就職、職場復帰など女性の就業・就労支援	
8. 起業やコミュニティビジネス、管理職へのキャリアアップなど女性自身の活躍促進支援	
9. 女性にとって働きやすい職場づくりのための企業向け研修	
10. 地域づくり、ボランティアなどに参画したい女性への支援	
11. 子育てをしている人への支援	
12. さまざまな場で、女性が能力を発揮できるよう支援する交流の拠点づくり	
13. いつでも誰でも立ち寄れる交流の場	
14. 男女共同参画に関する問題の調査・研究の充実	
15. その他(具体的に: _____)	
16. わからない	

問 30. すべての人の人権が尊重され、男女がともにその個性と能力を発揮できる社会の実現をめざす男女共同参画社会を実現していくために、行政にご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。

最後に、ご回答を統計的に分析するために、失礼ですが、あなた自身やご家族についてお伺いします。

F1 あなたの性別 (○は1つ)

1. 男性 2. 女性

F2 あなたの年齢 (○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 20～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75 歳以上 |

F3 あなたの職業 (○は1つ)

- | | | |
|---|----------|-----------------|
| 1. 自営業主・自由業 | 2. 家族従業者 | 3. 正規の社員・職員・従業員 |
| 4. 派遣社員 | 5. 契約社員 | 6. 嘱託社員 |
| 7. パート・アルバイト(学生バイトを除く) 8. 家事専業(専業主婦・主夫) | | |
| 9. 無職(家事専業の方は除く、年金のみの方を含む) 10. 学生 11. その他(具体的に:) | | |

F4 離職経験についてお聞かせください。経験があるものにすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 結婚のために離職したことがある。 | 2. 出産・育児のために離職したことがある。 |
| 3. 介護・看護のために離職したことがある。 | 4. 転職又は起業のために離職したことがある。 |
| 5. 離職したことがない。 | 6. その他(具体的に:) |

F5 一緒にお住まいのご家族の形態 (○は1つ)

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 単身世帯(ひとり暮らし) | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 親と子の世帯 |
| 4. 親と子と孫の世帯 | 5. その他(具体的に:) | |

F6 あなたは配偶者(事実婚のパートナーを含む)がおられますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない 3. いたが離別した 4. いたが死別した

F7 一緒にお住まいの家族の中に、介護の必要な方がおられますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない 3. その他(具体的に:)



F8 F7で「1. いる」と回答された方のみ 誰が主に介護や介助をしておられますか? (○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------------|
| 1. あなた自身 | 2. 配偶者又はパートナー | 3. ホームヘルパー等の専門家 |
| 4. その他(具体的に:) | | |

F9 あなたは子どもがおられますか。(○は1つ)

1. いる (.....人) 2. いない 3. その他(具体的に:)



F10 F9で「1. いる」と回答された方のみ 子どもの年代 (あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-----------------------|--------|--------|--------------------|
| 1. 乳幼児・未就学児 | 2. 小学生 | 3. 中学生 | 4. 高校・大学・専門学校などの学生 |
| 5. 社会人 6. その他(具体的に:) | | | |

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。